

日本共産党杉並区議会議員

週刊

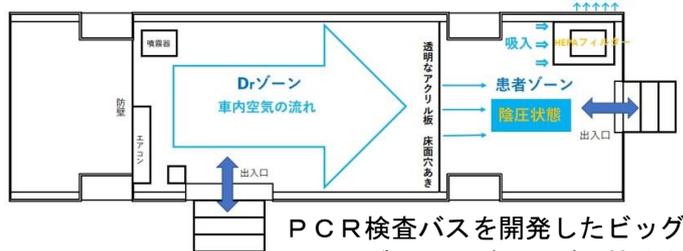
こんにちは 山田耕平 です

2020.7.22 No.378

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

党区議団の新型コロナ対策提案 第6次補正予算で実る 23区初 杉並区で移動式PCR検査バスを導入



PCR検査バスを開発したビッグウェブホールディングス株式会社ホームページより。

今回の補正予算には、新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、PCR検査体制を強化するため、移動式のPCR検査バスの購入、現在実施している区内4基幹病院のPCR検査体制の人的費の補助、PCR検査を実施する区内クリニックなどへの運営補助、PCR検査機器の追加配備などが盛り込まれました。

PCR検査体制さらに拡充
区議団提案の検査車両を導入

7月21日、杉並区議会第4回臨時会が開会し、新型コロナウイルス対策に関わる第6次補正予算(約25億円規模)が審議されました。

今回の補正予算には、新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、PCR検査体制を強化するため、移動式のPCR検査バスの購入、現在実施している区内4基幹病院のPCR検査体制の人的費の補助、PCR検査を実施する区内クリニックなどへの運営補助、PCR検査機器の追加配備などが盛り込まれました。

今回の補正予算ではPCR検査体制の拡充の他にも、様々な支援策が提案されました。

区内商店等の支援が拡充

杉並区内の障害福祉・介護施設などがコロナの影響で4・5月分が減収したことに對し、その減収の50%(上限100万円)を支給するとしていきます。

また、バーやキャバレー、スナックなど接待を伴う区内飲食店に對し、専門家による研修会等の実施と連絡会の設置、従業員のPCR検査費用の一部助成なども盛り込まれました。

さらに、区内商店街への飛沫防止用品、消毒用品の購入費用の助成(1店舗3万円)と、区内商店街の「お買物券」のプレゼントキャンペーンへの助成なども行ないます。

党区議団は感染が拡大している状況を踏まえ、さらなる対策の拡充を求め、補正予算には賛成しました。

バスによる移動式PCR検査スポット詳細

陰圧装置や除菌システムを完備したバスを導入し、区内各所で区がPCR検査を実施できる。
予算額：1億70万円(車両経費と運用経費を含む)

検査内容等	診察・検体採取。 対象者：軽症者及び濃厚接触者で無症状者。
実施場所	区施設(保健センター 駐車場等を予定)。
人員体制	医師、看護師、医療事務。
事業規模	1日当たり40件程度。
今後の予定	10月から運用開始予定。

杉並区内駅頭で救援募金活動を実施中

九州等豪雨災害 救援募金にご協力ください

党区議団と原田都議、地域の後援会員のみなさんと共同で募金活動を実施。



一刻も早い被災地の復興と支援を！

7月10日、日本共産党杉並区議団は荻窪駅・阿佐ヶ谷駅で「九州等豪雨災害緊急救援募金」に取り組みました。荻窪駅で6万4538円、阿佐ヶ谷駅で2万1785円、合計8万6323円の募金が寄せられました。

新型コロナウイルスと豪雨災害という二重の打撃に、被災地では深刻な事態が広がっています。街頭での募金訴えには、「私も水害にあつたことがあるから。」「少しでも…と、小学生から高齢の方まで、多くのみなさんから募金へのご協力を頂きました。みなさんから預かりました募金は、党対策本部を通じて、その全てを被災地に送ります。

募金は左記の郵便振込でも受け付けておりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いします。日本共産党は、被災者支援制度の拡充や、避難所の改善などにも全力で取り組んでいきます。

郵便振込での受け付け先

【口座番号】

00170-9-140321

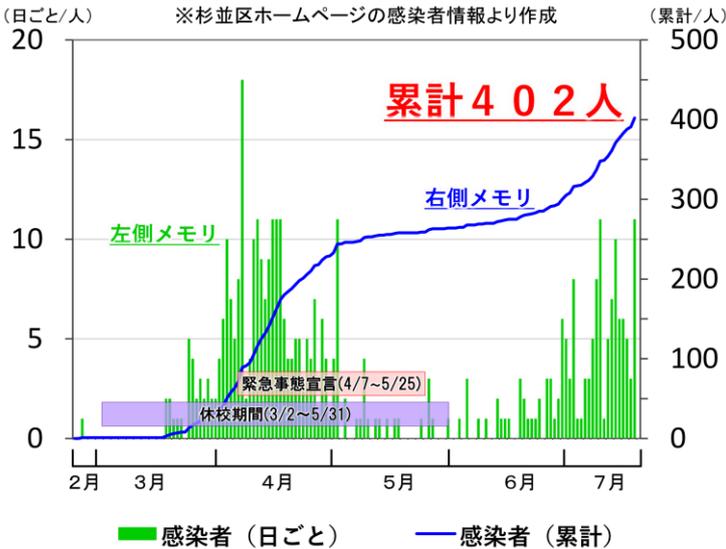
【加入者氏名】

日本共産党災害募金係

※ 通信欄に「2020年豪雨災害救援募金」とご記入ください。

※ 振込手数料はご負担願います。

■杉並区の感染者数 (7月20日現在)



杉並区内の感染者数の推移

杉並区内の感染者数は、感染者が増え始めた3月下旬は高齢者が中心でしたが、4月に入り若年層にも増えており、6月に入ってからは特に20～30代で増加が目立っています。

6月中旬以降、区内の感染者数・陽性率が急激に増加しており、感染拡大の傾向が顕著となっています。感染予防と同時に徹底した検査が必要です。

感染者数等は、杉並区ホームページに掲載されています。ぜひ、ご確認ください。

■杉並区内の陽性率(7月20日現在/区HPより)

期間	陽性者数 (a)	検査件数 (b)	陽性率 (a/b)
6月1日～6月7日	3人	275件	1.10%
6月8日～6月14日	6人	291件	2.10%
6月15日～6月21日	4人	248件	1.60%
6月22日～6月28日	12人	260件	4.60%
6月29日～7月5日	22人	327件	6.70%
7月6日～7月12日	38人	460件	8.30%

育メン日誌

新型コロナ禍での子ども達の生活②

長く続いた休校のため、授業時間が足りません。隔週での土曜授業、夏休みは3週間に短縮等々の対応が行なわれています。しかし、子ども達への負担も大きく、様々な課題があります。休校による影響は、今なお深刻です…。